

決定版・脱亜論

育鵬社

渡辺利夫・著
一五〇〇円

本書は近代史に通曉する著者が、明治の巨人・福澤諭吉の著作を読み解きながら、日本近代化の歩みや明治人が中国や韓国といった近隣国といかに向き合ってきたかを論じた一冊だ。「脱亜入欧」を説いた福澤の『脱亜論』全文、陸奥宗光と日清戦争など、当時の文献や歴史的事件をつぶさに検証し、日本が近代化を成し遂げた要因、それを可能にした明治人の気概、現実を冷徹に見つめる「リアリズム」に迫っていく。日本を取り巻く国際情勢が混乱を深めるいま、改めて福澤の見識と明治人のリアリズムを学ぶ意義は大きい。

